

京都支部 夏行事《祇園祭 函谷鉾特別拝観》

開催のご報告

京都支部 大見悦子 辻本奈都子

7月14日(日)・15日(月)

梅雨の候、幸いにも両日とも雨には降られず、祇園祭函谷鉾の特別拝観を開催致しました。

祇園祭の歴史

都の安寧を脅かす疫病の退散を祈願するため、平安時代の869年、平安京の庭園だった神泉苑に、当時の全国の国数と同じ66本の矛を立て、祇園社(今の八坂神社)から神輿を出したことが始まりと伝えられています。日本三大祭りのひとつである祇園祭は、京都が世界に誇る無形文化遺産であり絢爛豪華な懸装品を纏った山鉾巡行は“動く美術館”と云われています。

今回は特別拝観として、函谷鉾保存会伝承係の荒尾様より祇園祭と函谷鉾についての説明を受け、展示されている貴重な装飾品を鑑賞しながら、鉾に上がって内部の見学をさせていただきました。



函谷鉾について

函谷鉾は四条通りの烏丸から室町の間、函谷鉾町の鉾である。応仁の乱以前に起源を持ち、くじ取らずの鉾として、鉾では長刀鉾に次いで2番目に巡行する。鉾の名は、中国戦国時代、齊(せい)の孟嘗君(もうしょうくん)が函谷関で、家来に鶏の鳴き声をまねさせ、関門を開かせて難を逃れたという「鶏鳴狗盗」(けいめいくとう)の故事に由来する。

函谷鉾パンフレットより一部抜粋-

懸装品の見どころ

① モン・サン・ミッシェル

2024年度パリオリンピック開催に合わせて今年度の巡行時の前掛けに選ばれました！

1998年 前掛け用に仕立て直し 皆川泰蔵作



テレビ中継より掲載

② イサクに水を供するリベカ

重要文化財 左側がオリジナル

16世紀 ゴブラン織 ベルギー製

右側が復元新調品

2005年 ゴブラン織 龍村美術織物製

期間中は会所に新旧並べて展示されています。



③ エジプト天空図 (写真左)

今年度『見送』に選ばれました。

1980年 新調 皆川泰蔵作



④ 八星メダリオン草花文

巡行時『後掛』

17世紀 インド絨毯 ムガル朝 (写真右)

“八つ星メダリオン”西洋絵画に描かれながら画家たちの想像上のデザインでは、の説もあつた、まぼろしのベルシャ絨毯。実在していた！発見に世界中が驚喜した貴重な現存品。

X投稿より

⑤ 金剛界礼懺文

弘法太子大師真筆写紺地金文字織

天保10年 文字紋織り

巡行時『見送』

函谷鉾町は紺地金泥書の弘法大師の真蹟と伝えられる「見送」を所蔵しており、宵山飾りでは会所で公開されています。



⑥ 稚児人形

他町に先駆けて左大臣一条忠香卿の御令息実良君

(さねよしぎみ=明治天皇の、昭憲皇太後の実兄)

をモデルに稚児人形を製作、「嘉多丸(かたまる)」

と命名していただきました。稚児人形第一号。



⑦ 金細工

虹梁(こうりょう=正面の一文字梁)、化粧柱

明治36年(1903年)新調



文化財の保存伝承についてのお話の中で、普段は蔵に収められている貴重な絨毯などもご紹介していただきました。作品保護のため、距離を守りながらも、大変貴重なオリジナルを鑑賞することができました。



今回の特別拝観の授与品として函谷鉾厄除け粽、うちわ、ステッカーを拝受しました。一年間の厄除けを祈念し、玄関に飾り、来夏には粽をお返しして、新しい粽を拝受しに函谷鉾へ。このご縁が末永く続きますようにと願います。



〈最後に〉ご参加いただきましたご父母の皆様から『とても良い経験となりました』とのお声をいただき、役員一同とても嬉しく思っております。今回の行事参加にあたり、受付開始より予想を遥かに超える応募が殺到した為、12時間を待たずして応募フォームへのアクセスが止められてしまう結果となりました。多くのご父母の皆様からのお申し込みをお断りせざるを得ない状況になり、改めてお詫び申し上げます。次回の支部行事は、更に魅力ある企画と大幅な定員となりますよう企画思案中ですので、秋行事の案内を楽しみに待ってくださればと思います。



今後とも京都支部、父母会活動にご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

〈文責：京都支部長 野口美代子〉